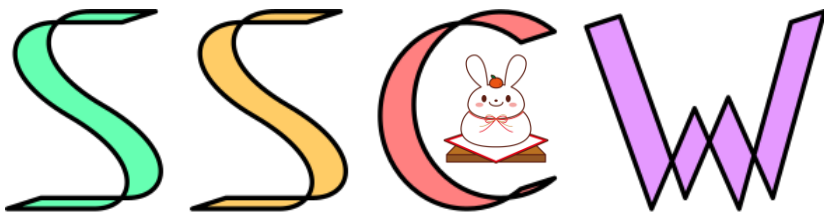


人を孤立させない地域づくり



Society of Study for Community Welfare

地域福祉を考える会 (SSCW) 会報紙 ニュースレター

発行：2023年1月15日発行 第108号

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

〒259-1142 伊勢原市田中256番地の1-301

TEL：0463-95-6665 FAX：0463-20-9320

Mail:office@tiikifukusi.com

http://tiikifukusi.com/

皆さま健やかに新春をお迎え のこととお慶び申し上げます

理事長 萩原 鉄也



厚労省の「2018年 国民生活基礎調査」による相対的貧困の基準は世帯年収127万円、相対的貧困率は15.7%とされ、子どもの6人に1人が貧困ライン以下での生活を強いられています。こうした子どもたちの多くは、家庭内で何らかの課題を抱え、特に母子家庭の貧困率は、高くなっています。しかも、外見からはわかりにくく貧困を認知するのが難しいため、今年4月に創設される『こども家庭庁』の大きな課題の一つに、無園児対策があげられます。無園児とは、保育園や幼稚園などの施設に通っていない小学校就学前の子どもたちのことを言い、全国で約182万人に上るとされています。あるNPOの調査によると無園児の保護者のうち、子育てで孤独を感じると答えた割合は、定期的に園を利用している保護者よりも高いことがわかりました。育児で困難を抱える家庭で親子が孤立すれば虐待などのリスクが高まる危険性が指摘されています。

無園児になる理由については、① 就学までは家庭内で育てる家庭内保育 ② 医療的ケア児が受け入れを拒否される ③ 保育所に空きがなく通園できない ④ 外国籍で入園手続きが分からない ⑤ 貧困的困窮 ⑥ ネグレクト、育児放棄などが考えられます。

保育園や幼稚園は、養育不適切世帯について、虐待やネグレクトを、いち早く察知することができます。発達障害等の傾向も専門職が気づき、適切な療育や支援に移行することが可能となります。子どもにとっては大きなセーフティネットであると思います。しかし、こうしたセーフティネットを必要とする家庭にすべての判断が委ねられている実態があると考えます。確固たる家庭内保育を実施している家庭以外は「子どもが3歳以降になったら、保育園か幼稚園に通わせなければならない」という義務化を進めるべきであるという意見もあります。

新年あけまして

おめでとうございます

(社福) 伊勢原市社会福祉協議会
会長 佐伯 妙有



皆様には、健やかに新しい年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、高齢、障がい、子育て等、多岐にわたる事業を展開され、本市の地域福祉推進にご尽力を賜り、敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年、私たちを取り巻く社会情勢は、少子高齢化による人口減少が進む中、地域における人と人とのつながりが希薄化し、それに伴う地域からの孤立や、さらにはコロナ禍がそれに拍車をかけるように、私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

誰もが安心して地域において自立した生活を送るためには、地域住民による支え合いと公的福祉サービスが連動し、地域を丸ごと支える包括的な支援体制を構築する地域共生社会の実現を図ることが必要になります。

そのような中、本会では令和5年度から5か年を計画期間とする「第5次伊勢原市地域福祉活動計画」の策定を進めております。この計画においては、様々な地域課題を解決するために、本会のみならず、地域住民やボランティア、福祉関係団体等の役割等を明示し、ともに活動していくための行動計画として策定しております。

計画を推進していくためには様々な方々の参加と協力が必要であり、貴会におかれましても、引き続き本市の地域福祉の推進のため、お力添えいただければと思います。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、明るく良い年となりますように御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

開催予定

未来セミナー読書会 2022年度 第5回
1月28日(土) 14時～
課題本：老いて華やぐ

(文春文庫)

著 瀬戸内寂聴

場所：社協1F会議室

参加費：200円

参加自由です。



活動報告

JA湘南 地域振興農産物品評会から

子ども支援に沢山の農産物を11月19日(土)市農政課を通し寄贈され一人家庭等などに配りました。感謝



子ども担当スタッフがお野菜を頂く

第33回 友愛電話初級講習会開催

11月24日(木) シティプラザ4階青年活動室にて社会福祉協議会共催の下、今回は7名の受講がありました。これから一緒に活動できることに期待しています。

サポセンフェスタ2022が開催

11月26日、27日に3年ぶりの対面イベントとして開催されました。盛りだくさんの趣向で皆様を楽しませて頂きました。

こども支援事業

～みなさまの善意とご支援に支えられ～
(こども食堂、学習サポートみらい・つなぐ)

いせはらみらい・クルリン食堂

いせはらみらい・クルリン食堂は令和5年 新たな気持ちで出発いたします。今まで、7年間お借りしていた場所から公立の施設を借りることができました。こども食堂は食育の推進という観点から深い意義があります。

私たちは民間発の取り組みとしてやってまいりましたが、これからは市と地域とこども食堂が連携を深めながら栄養のある食事や温かい団らんを提供できるよう、家庭における共食が難しい子ども達に対してこれからもスタッフ一同 頑張っていく予定です。

令和5年
1月から

◆中央公民館 4階へ場所変更に

場所：伊勢原中央公民館 4階 調理実習室
(伊勢原市東大竹1-21-2)

3月までの予定 (17時30分～19時30分)

◎1月18日 (水)

◎2月8日 (水)、22日 (水)

◎3月8日 (水)、23日 (木)

◆コロナウイルス感染拡大防止のため、

・事前申し込み制・

◆1回 17:30～18:00 10名

◆2回 18:10～18:40 10名

◆3回 18:50～19:20 10名

入れ替え制にいたします。

参加する方は必ず申し込みしてください。

☎ 0463-95-6665

//氏名、住所、こども年齢、電話をお願い//

クルリン食堂のスタッフ



輪投げゲーム



学習サポートみらい・つなぐ

◆12月20日 お楽しみクリスマス会

コロナ禍ではありますが、手洗い・消毒・換気に注意しながら楽しいクリスマス会が開催できました。参加者 53名

Mバーガー・ケーキ・ヨーグルト、みかんを頂き、石川先生による工作や学生サポートによるゲームで交流を図りました。

いっぱいのお土産をもらって帰りました。



ひとり親家庭等の食事等支援臨時対策事業補助金からいただきました



ビックリマジックスクリーン



みかんの重さ計りくらべ
1kgは何個ぐらいかな?

参加者全員で (マスクをちょっとはずして)



朝ごはんだよ こども食堂

おうちでひとりでご飯を食べることが多い子ども、仕事が忙しくてなかなかお子さんにご飯を作ることができない保護者の方。お待ちしております。

日時：毎月第4月曜日 朝7時～8時

場所：ふくじゅ (伊勢原1-20-6)

参加費：大人200円、こども無料

次回開催 1/23、2/27、3/27



ご飯・みそ汁・ウインナー、
納豆、お野菜たっぷり



感謝 子ども支援へ食材・物品

ありがとうございます ◆11～12月のご提供者様 (敬称略) ◆
(株)三光工業 (鈴川)、荒川米店・(社福)手をつなぐ育成会・奥田フミ子 (板戸)、米山満 (子易)、川上知子 (岡崎)、アグリパーク伊勢原・田中美千代 (西富岡)、仲井正 (成瀬)、米倉力 (高森)、フードバンクいせはらふらっと (下谷) 麻生治雄 (小稲葉)、木内めぐみ、セ・ラヴィ (沼目)、伊勢原まごころクリニック・(社福)社会福祉協議会 (伊勢原)、秋山寿志、山口知英 (日向)、星照夫・亀井素代 (下落合)、伊勢原まめの会 (善波)・杉山博 (桜台)、NPO 法人太陽の会 (大和市)、高橋保広 (山形県)、匿名 (4件)

秋山安太郎石材店

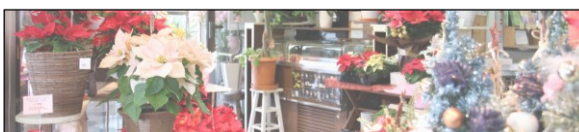
〒259-1101 神奈川県伊勢原市日向576
0463-95-2490



花生活応援

花小代

〒259-1132 伊勢原市桜台1-23-38
TEL: 0463-96-1187 / FAX: 0463-96-1028
<http://hanasayo.com/>



鍼灸・物理療法・整体・エステ 東洋療術院

〒259-1131
伊勢原市伊勢原1-14-14
伊勢原ビル6F
☎0463-92-7888



児童コミュニティクラブだより

昨年は新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行いながら密にならない工夫をして行事を楽しみました。保護者の皆様、学校の先生方、保育園の先生方、地域の皆様、ボランティアの方のご協力により無事に終える事が出来、新しい年を迎えることができました。感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は「卯年」。卯年は目を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で目に見えて大きく成長する年だといわれています。またウサギは飛び跳ねる事から飛躍するという象徴でもあります。

子ども達には様々な体験、経験を通し今よりもステップアップできるように引き続き感染症対策に気を配りながら安全に配慮し安心してすごせるよう支援員、職員共々見守りたいと思います。

4児コミ代表 安武敬子



◆これからの児コミの行事予定◆
*節分 *バレンタインデー *ひな祭り



学校振替休日にみかん狩りにいきました。お天気も良く久しぶりの外出に子ども達も嬉しそうでした。



クリスマスの工作をし、クリスマス会に向けてプログラムを作りました。12月22日・23日でクリスマス会をしました。



きらきら 12月活動報告

参加の皆さんでクリスマスツリーの下で写真を撮ったり、松ぼっくりでクリスマスの飾りを制作したり20日はおうちCO-OPの皆様が紙芝居ストレッチ体操とお話して楽しく過ごしました。帰りにはお土産を頂きました。

- ◆会場：シティプラザ 1F ふれあいホール
 - ◆日時：火曜日 午前10時～12時
 - ◆参加費：一組100円
- 予約不要・出入り自由です。

次回開催 1/24、31
2/7、14、21、28



ママと一緒に制作を



きらきらのスタッフ



成年後見部会から

「地域福祉計画」の中の成年後見活動

現在令和5年3月に向け「第5期伊勢原市地域福祉計画(案)」が作成されています。(当法人理事長も歯科医師会代表で委員参画しています)

現在稼働中の地域福祉計画第4期でも重点目標である権利擁護の推進として「成年後見・権利擁護推進事業」(伊勢原市成年後見制度利用促進基本計画)が位置付けられており、当法人が2006年(平成18年)に法人後見団体として活動を始めた頃よりも、より重要性を増していると言えるでしょう。

市民を対象としたwebアンケート(2020年)では「成年後見制

度を知っている」「聞いたことがある」という回答が合わせて約85%で、比較的認知度はあるという結果が出ています。しかしながら「制度を利用する場合、誰に後見人になってもらいたいのか」という質問には「親族」「専門職(弁護士等)」との回答が合わせて80%以上となっており、「市民後見人」という回答は4%という結果でした。しかしながら、今後ますます進むであろう高齢化や核家族化の中、身寄りのない高齢者や障がい者、財産の少ない方々の成年後見の担い手として、市民後見人の重要性は高くなるものと考えます。

法人後見とは言え、見知らぬ他人に財産や権利擁護を委ねる不安は大きいものと認識し、日々の活動の中で信頼を得られるよう、関係機関と連携しながら研鑽を重ねます。 代表 勝田 俊一

伊勢原の不動産なら
伊勢原土地株式会社
〒259-1131 伊勢原市伊勢原1丁目20-11
TEL : 0463-94-3757
<https://www.iseharatochi.net/>

伊勢原発の
おいし〜い
トマトや野菜!
片野さんの
とまと
伊勢原市公式
イメージキャラクター
クルリン

片野施設園芸
〒259-1137 伊勢原市笠窪397

患者さんに寄り添った 地域のかかりつけ歯医者さん
医療法人社団
はぎわら歯科医院
0463-92-6449
〒259-1122 伊勢原市小稲葉100-12
診療時間：9：30～13：00 14：30～18：00
休診日：木・日・祝日
<https://www.hagiwara-dent.or.jp/>

大人の修学旅行2022

東北城巡り(食べ歩き)

理事 端山 清

今回の大人の修学旅行は、「地域福祉を考える会」が開催している「未来セミナー読書会」で「米沢藩の経営学」を読み、上杉鷹山と直江兼続ゆかりの地米沢に行くことに。前日降った雪の残る峠を越えて山形新幹線つばさが米沢に着いたのは正午過ぎ、まずは腹ごしらえ。夕食は、がっちり米沢牛を食べる予定にしていたので、そばでもと入った食堂で目に付いたのは特製牛骨スープ米沢牛肉ラーメン、思わず食べてしまった。あっさりスープと太麺は、食べて良かった。米沢は、バスの便が悪く、松岬神社境内の「伝国の辞」の石碑や米沢城跡に建つ上杉神社、さらには上杉家廟所まで1万5千歩を踏破した。

さて初日のハイライトは、「べこや」での米沢牛特選コースすき焼き、贅沢の極み、言葉はいらない。味は、想像してみてください。

翌日は、東横イン米沢の無料朝食後、奥羽本線で山形に移動。山形城(霞城)跡と城内の県立博物館、市郷土館を見学した。県立博物館には、「縄文の女神」という国宝の土偶があった。市立郷土館は、外観がおしゃれな国指定重要文化財の「旧済生会本館」という病院跡を活用した展示施設である。

山形の昼食は芋煮と決めていたが、上手く見つけられないまま空腹に勝てず、目の前にあった食事処に入った。ここで見つけたのは、塩レモンラーメン、酸味の効いたあっさりラーメンでいけた。再現するならインスタントの塩ラーメンにポッカレモン、レモンライス、サラダチキン、ミズナって感じ。

午後からは、国の重要文化財山形県旧庁舎「文翔館」へ。雰囲気は、神奈川県庁みたい？ 見学後、山形県の旅行クーポンで山形土産のレトルトの芋煮を買って、仙山線で作並駅へ。駅には、「鷹泉閣岩松旅館」のマイクロバスが迎えに来ていた。ホテルへの途中小雪がぱらつき、結局朝まで降り、うっすらと積もった。作並温泉は鄙びた場所で、岩松旅館の周囲には2、3軒のホテルと1軒のこけし屋さんしかなかった。夕食は、バイキングだったがまずまず。売りの天然掛け流しの岩風呂は、女性専用タイムだったので、大浴場で2日目1万8千歩の疲れを取った。

最終日は、仙台。るーぷる仙台という観光地を巡回するバスで、伊達家の廟屋「瑞鳳殿」や「青葉城」を訪れた。青葉城の伊達政宗騎馬像は、令和4年3月の地震で傷み、現在修理に出されて見ることができなかった。



るーぷる仙台

仙台駅での最終ランチは、握りの付いたカキ丼セットと前から食べたかったセリ鍋にした。セリは、根が美味しいというのが気になっていたが、結果私的にはやっぱり根だというくらいのものでした。仙台での土産は、「萩の月」が定番だが、先日まであった便利な4個セットが廃番になっていたのは残念。

しかし、今回の旅は本当によく歩いた。最終日1万6千歩、でもそれ以上に食べて飲んで、楽しみ尽くした大人の修学旅行だった。



「伝国の辞」石碑①と上杉鷹山銅像②



活動報告

けんこう👉つなぐ👉うたごえ

12月17日(土) 寒い中82名の参加者。

クリスマスソングを唄いハンドベルを演奏して皆さんで楽しみました。

誤嚥を防ぐために口・舌の運動としてパタカラ体操やストレッチが行われます。パタカラ体操とは「パ」「タ」「カ」「ラ」の4文字を発音することで口・舌の筋肉を使い、食べたり飲み込んだりする機能を鍛える代表的な体操の一つです。ご自宅でも毎朝鏡をみてやってくださいね。

次回は1月21日(土)です。おまちしています。



2022年度《賛助会員募集》

当会法人の活動目的や活動内容に賛同し、応援して下さる会員です。賛助会員の皆さまに継続的にご支援いただくことで、安定した活動ができるようになります。私たちと一緒に「人を孤立させない地域づくり」に取り組みませんか。

年額(一口) 5000円から何口でもご支援いただけます。なお、賛助会員の会費は、寄附金控除の対象になります。

振込先
横浜銀行 伊勢原支店 普通6116229
湘南農業協同組合 伊勢原支店 普通0001194
(郵便払込の場合) 口座記号・番号 00240-6-105549
・いずれも「特定非営利活動法人地域福祉を考える会」

ご寄付者名簿(敬称略)

ありがとうございます

R4年10月31日～12月20日 (単位:円)

中栄信用金庫 100,000 ビッグバン代表谷山歳於 100,000
小野芳野60,000 高橋千枝子 5,000 芦原秀人 10,000
佐藤勝守 10,000 米倉力 10,000 伊勢原ロータリークラブ 100,000
匿名 3,000 (株)トラストコンポーネンツ 100,000 匿名 20,000
伊勢原まごころクリニック 10,000 三瓶ミネ子 7,000 匿名 5,000
N・N 10,000 伊澤典男 10,000

合計 560,000円 令和4年度累計 2,025,610円

税制優遇の制度をご活用ください。

優遇を受けるには手続きが必要です。詳細については右のQRコードから県の情報をご覧ください。

